

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解 科目コード：130013 疾病・障害論 I (概論) Diseases and Disorders I (Introduction)					
担当教員	岩佐和夫				
実務経験	病院勤務経験のある教員が担当している。				
開講年次	1年次前期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	主訴、病歴聴取、身体診察、症状と徴候、症候学、臨床検査、病態、診断、インフォームド・コンセント、医療チーム、原因療法、対症療法				
学習目的・目標	<p>「疾病・障害論I・IIA・IIB・IIC」のシリーズは、1年次と2年次、計2年をかけて、医療の原則と疾病・障害の基礎知識を学びます。このシリーズでは、看護師としての役割を果たす上で必要な疾病の基礎的な知識や情報を整理し、これらの知識を自分の血肉としていくことを目的とします。このシリーズでは、以下の項目を最終目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1). 患者の心身にわたる訴えを的確に捉え、患者の訴えに共感するとともに患者に起きていることを理解する。 2). 患者の疾病に対し正確な知識を獲得し、診断を行うことの大切さを理解する。 3). 将来にわたり患者にとって最善の結果がえられる治療法を理解し、説明と同意（インフォームド・コンセント）に基づく自己決定に従って、患者を中心とした治療法を選択していくことの重要性を理解する。 4). 疾病の軽快・治癒は患者自身の生命活動によるものであり、医療はそれが最大限に発揮されるように手助けをおこなっていることを理解し、個々の患者における医療について考えることができるようにする。 5). 患者を中心とした多職種医療チームについて考え、その中で自分の役割を理解し行動できるようにする。 <p>目的： シリーズの最初の「疾病・障害論I」は、はじめに「医療学入門」として医療の原則と概念を学び、その後以下の項目の習得を目指します。</p> <p>目標： 1). 医学的な知識や情報を整理し、自分の知識としていく。 2). 病気になるということを理解する。 3). 患者さんの訴え（主訴）を理解する。 4). 患者さんの症状、徴候、経過を理解する。 5). 患者さんに行われる検査について理解する。 6). シリーズIIに向けて、これらの事柄と疾患とを結びつけることができるようにする。</p>				
授業計画・内容					
回	内容				
1	医療学入門（1）正しい診断にいたるすじみちと最善の治療の選択				
2	医療学入門（2）疾病・障害のなりたち（総論）				
3	病態と症状・徴候（1）心血管疾患（心臓、冠状動脈、脳血管、大動脈・肺動脈、末梢動脈の疾患）				
4	病態と症状・徴候（2）呼吸器疾患（上気道、下気道・肺、胸膜の疾患）				
5	病態と症状・徴候（3）消化器疾患（消化管と肝胆膵の疾患）				
6	病態と症状・徴候（4）腎疾患・尿路疾患				
7	病態と症状・徴候（5）代謝疾患・内分泌疾患				
8	病態と症状・徴候（6）神経・筋疾患				
教科書	看護のための臨床病態学（南山堂）、配布資料				
参考図書等	なるほどなっとく！解剖生理学（南山堂）、なるほどなっとく！病理学（南山堂） カラー図解 人体の正常構造と機能（日本医事新報社） 看護師・看護学生のためのレビューブック（メディックメディア） 日野原重明著「医学概論」（医学書院）（注：各学生が図書館から借りることができます） 看護師国試対策 START BOOK 解剖生理と疾病の特性（南山堂）				
評価指標	成績判定の対象者：出席2/3以上、課題をすべて提出している。 定期試験の結果100%で評価する。				
関連科目	解剖生理学、生物学、代謝と栄養、人間病態学、フィジカルアセスメント、看護学の各科目				
教員から学生へのメッセージ	<p>苦痛や不安を抱えた患者が医療機関を訪れたとき、どうしてほしいと思っているのでしょうか？安心・安全？心のケア？それだけではありませんよね。一番してほしいことは、病気を治すこと、もし治らない場合は、できるだけ苦痛を取り除き、なるべく自分がこうしたいと思うように過ごせる時間を作り出すことではないでしょうか？</p> <p>そのためには正確な診断と相応しい治療・的確なケアが必要です。看護職は患者の最もちかくにいて、患者の身体症状や心の動きを一番早く察知する医療者です。病態に相応しい症状のコントロールのプロフェッショナルでなければなりません。基本的な医学知識は不可欠です。</p> <p>看護職に限らず、医療者のミッションは、患者を第一に考え、将来に亘りその患者自身にとって最大の利益が得られるように考え、行動することです。そのためには、専門知識、専門技能、温かい心とそれを態度に表し伝える能力が必要です。その根底にはいつも誠実であることが求められます。</p>				

患者に選ばれるあなたになれるよう、これから誠実に学んでいきましょう。